

第32回全国高等学校写真選手権大会



東川町 | 美瑛町 | 上富良野町 | 東神楽町 | 旭川市

初戦作品応募締切

2025.5.15 Thu 必着
Must arrive

初戦審査会

2025.5.22 Thu

ブロック審査会 (オンライン)

2025.6.7 Sat

2025.6.8 Sun

本戦大会

2025.7.29 Tue-8.1 Fri

招聘期間 2025.7.28 Mon-8.3 Sun

主催
写真甲子園実行委員会

構成団体

東川町
美瑛町
上富良野町
東神楽町
旭川市
北海道新聞社
全国新聞社事業協議会
東川町写真の町実行委員会

後援

文部科学省
北海道
北海道教育委員会
(公社) 全国高等学校文化連盟
北海道高等学校文化連盟
(株) 共同通信社
NHK
(公財) 民間放送教育協会

特別協賛

キャノンマーケティングジャパン(株)

協賛

(株) NTTデータ北海道
ワイテックメディアソリューションズ(株)
ウェスタンデジタル(同)
EIZO(株)
近畿日本ツーリスト(株) 旭川支店
北栄信用組合
日本ネイサンズ(株)
(株) 大丸松坂屋百貨店 大丸札幌店
(株) インターパーク
ビジュアルアーツグループ
[東京・名古屋・大阪・福岡]
東京工芸大学芸術学部
日本写真芸術専門学校
玉環大学東京メディア芸術学部
大阪芸術大学
九州産業大学
日本大学芸術学部写真学科
東京綜合写真専門学校
東京造形大学
日本写真映像専門学校

協力

(一社) 日本写真映像用品工業会
日本航空(株)
北海道コカ・コーラボトリング(株)
花本建設(株)
HJK(株)
旭川福祉専門学校
旭川ケーブルテレビ(株)

メディアサポート

(株) モーターマガジン社 カメラマン
(株) ワン・パブリッシング CAPA
(株) インプレス デジタルカメラマガジン
デジカメ Watch
(株) 日本写真企画 フォトコン
(株) 風景写真出版

東川オフィシャルパートナー

(株) アマナ
サイバートラスト(株)
SOMPOケア(株)
(株) セブン銀行
NECネットエスアイ(株)
(株) ヌーラポ
キャノンマーケティングジャパン(株)
エア・ウォーター北海道(株)
(株) ツナグ・ソリューションズ
(株) シー・エム・エス
第一生命保険(株)
サッポロホールディングス(株)
クロアプラス(株)
日本航空(株)
明治安田生命保険(相)
(株) バリユークリエイト
あずみらい(株)
富士通 Japan(株)
TTK ホールディングス(株)
(株) WHERE
ポリバレンツ(株)
(株) 山一商事
若塚製菓(株)
東京カメラ部(株)

(株) 阪急交通社
CKD(株)
(株) R-body
(有) 誠屋
日本カード(株)
日本生命保険(相)
(株) 三菱UFJ銀行
セイノーホールディングス(株)
(株) 電通北海道
(株) エアロネクス
青山メディカルグループ
ネオス(株)
(株) VOREAS
(株) ホリプロ
トーホウリゾート(株)
日本郵便(株)
(株) リクルート
SATO 社会保険労務士法人
(株) カナモト
工機ホールディングスジャパン(株)
Ramps(株)
三菱地所(株)
住友生命保険(相)
(一社) アンカー
SOLIZE(株)
(株) hide kasuga1896
石渡電機(株)



写真文化首都



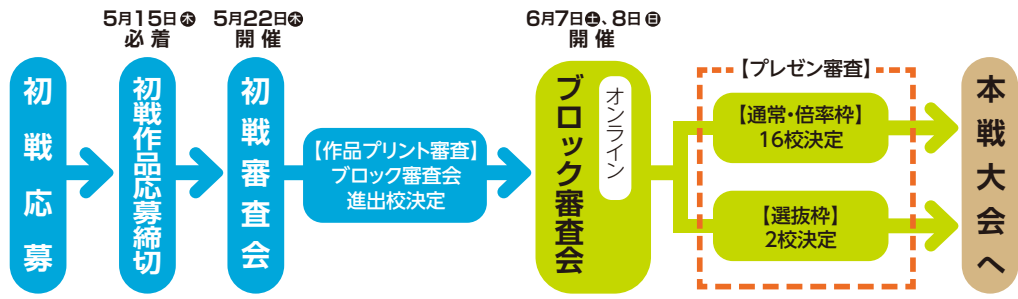
<https://syakou.jp/>



写真甲子園

1994年に始まった全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園」は全国の高校写真部・サークルに新しい活動の場や目標、そして出会い・交流の機会を提供し、高校生らしい創造性や感受性の育成と活動の向上をもって、学校生活の充実と特別活動の振興に寄与することを目的とした大会です。

全国の高校写真部・サークルなどから、共同制作による作品（組写真）を募集し、作品審査及びプレゼンテーション審査によって全国11ブロックから優秀校18校を選抜し、開催地である東川町にて、同一条件（撮影時間、撮影フィールド、撮影機材等）下、高校写真部・サークルの全国一を目指します。



共同制作による作品（組写真）を募集します。

初戦応募（応募要項）

テーマ・題材は問いません。自由な発想で取り組んでください。

初戦作品応募締切 2025.5.15 Thu 必着

1. 写真甲子園2025 初戦応募

- 応募資格……全国の高等学校に所属していること。（全日制・定時制・通信制は別の学校として応募可）
※本校とは別に分校またはキャンパスをおく学校は別の学校として応募可
※年齢は平成19年（2007年）4月2日以降に生まれたものとする。
- 選手登録……各校 1チーム3名で応募ください。
※写真部・サークルまたはチームを新たに結成して応募することができます。
※登録選手はブロック審査会出場予定者となります。（変更可）
- 作品テーマ……テーマ・題材は自由です。

2. 初戦応募方法

- 1校6～8枚の組写真を1作品として、ご応募ください。
今大会より郵便等の受付に加えて、WEBでの申込受付をしています。詳しくは別紙をご確認ください。

3. 作品応募規定

- ①1校から1作品の応募とし、複数応募はできません。
- ②作品は6～8枚の組写真を1作品としてプリントで応募してください。
また、作品画像データ（JPEG）のCD又はDVDも一緒に送付ください。
- ③プリントは白黒・カラーは問いません。
- ④プリントのサイズは六ツ切（203mm×254mm）～ワイド六ツ切（203mm×305mm）またはA4の写真用紙でご応募ください。また、厚さは2mm以下とします。
※このサイズ以外での応募は審査対象となりません。
- ⑤作品裏面には、規定の『作品票』を作品番号順に貼付ください。
※貼付の際には天地確認をお願いします。
- ⑥『応募票』は必要事項を漏れなく記入し、作品とともに送付ください。
- ⑦応募作品は配達記録の残る宅配便及びレターパック等で送付ください。
※到着の遅れや送付中の事故等の責任は一切負いません。
- ⑧応募作品は返却いたしません。
- ⑨ブロック審査会進出校の応募作品は、写真甲子園実行委員会が主催・共催・後援などを行う展示会、印刷物、Webサイト、出版物及びテレビなどに使用することがありますのでご了承ください。
※応募票及び作品票は、大会公式ホームページよりからダウンロード（PDF）できます。



応募票



応募作品（6～8枚）
六ツ切～ワイド六ツ切
又はA4の写真用紙



作品画像データ

ブロック審査会は、初戦応募作品の制作意図やねらいをオンラインにてプレゼンテーションし、審査、講評を行い、本戦大会出場校を選抜します。

ブロック審査会（オンライン） 2025.6.7 Sat, 8 Sun

1. 日時

2025年6月7日（土）、8日（日）

2. 審査委員（敬称略）

審査委員 野村恵子（写真家）・中西敏貴（写真家）・須藤絢乃（写真家）・鶴川真由子（写真家）・浅田政志（写真家）・大森克己（写真家）・北海道新聞社

3. 審査方法

- ブロックごとにブロック審査会進出校と審査委員をオンラインでつなぎ、プレゼンテーション審査を行います。
〈オンライン中継で必要な機材〉
・PC、カメラ、マイク、スピーカー（PC内蔵タイプも可）
※用意が難しい場合は事務局までご相談ください。

<全国11ブロック>

- 北海道ブロック……北海道
- 東北ブロック……青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県
- 北関東ブロック……茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県
- 南関東ブロック……千葉県・神奈川県・山梨県

- 東京ブロック……東京都
- 北陸信越ブロック……新潟県・富山県・石川県・福井県・長野県
- 東海ブロック……岐阜県・静岡県・愛知県・三重県
- 近畿ブロック……滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県

- 中国ブロック……鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県
- 四国ブロック……徳島県・香川県・愛媛県・高知県
- 九州・沖縄ブロック……福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

全国からの代表校が「写真の町」東川町に集い、全校同一条件で撮影を行い、全国一を目指します。

本戦大会 2025.7.29 Tue - 8.1 Fri

1. 大会会期 2025年7月29日（火）～8月1日（金）
＜招聘期間＞ 2025年7月28日（月）～8月3日（日）

2. 大会会場

式典・公開審査会➡東川町（東川町農村環境改善センター）
撮影フィールド ➡東川町～美瑛町～上富良野町～東神楽町～旭川市ならびに大雪山国立公園一帯

3. 審査委員（敬称略）

代表審査委員 野村恵子（写真家）
審査委員 中西敏貴（写真家）・須藤絢乃（写真家）・鶴川真由子（写真家）・浅田政志（写真家）
ゲスト審査委員 大森克己（写真家）

4. 大会賞（予定）

- | | | |
|-----------------|-----|-------------------|
| 1. 優勝＜北海道知事賞＞ | 1校 | 優勝旗・優勝盾・賞状・メダル・副賞 |
| 2. 準優勝＜北海道新聞社賞＞ | 1校 | 賞状・メダル・副賞 |
| 3. 優秀賞＜東川町長賞ほか＞ | 5校 | 賞状・メダル・副賞 |
| 4. 敢闘賞 | 11校 | 賞状・メダル・副賞 |
| 5. 町民が選ぶ特別賞 | 該当校 | 賞品 |
| 6. 選手・監督が選ぶ特別賞 | 該当校 | 賞品 |
| 7. キャノンスピリット賞 | 1名 | 賞品 |

4. 審査結果発表

審査会当日、各ブロック審査後にオンライン上で本戦大会出場校の発表を行います。なお6月8日（日）19時に大会公式ホームページ及び公式SNS [Facebook、Instagram、X（旧:Twitter）] にて選抜枠を含め一般公開します。

5. アーカイブ動画の配信

ブロック審査会で中継した様子を編集し配信します。
・2025年7月11日（金）以降、順次公開

招聘期間 2025.7.28 Mon - 8.3 Sun

5. 会期日程（予定）★は一般公開されます。

- | | | |
|----------|-------------------|-------------------|
| ・7/28（月） | ・代表校東川町入り | ・オリエンテーション |
| ・7/29（火） | ★開会式・歓迎夕食会 | ・オリエンテーション・ホームステイ |
| ・7/30（水） | ・撮影 | ・セレクト会議 |
| ・7/31（木） | ★公開審査会 | ・撮影 |
| ・8/ 1（金） | ・撮影 | ・セレクト会議 |
| ・8/ 2（土） | ・（国際写真フェスティバル参加等） | ・選手・監督交流会 |
| ・8/ 3（日） | ・解散 | |

6. 作品展（予定）

・9/7（日）～9/11（木） ★写真甲子園2025本戦作品展（東川町文化ギャラリー）

7. 本戦大会経費

最寄空港からの交通費並びに宿泊費は主催者が負担します（各校選手3名と担当顧問1名）。
大会期間中の移動手段や宿泊先、食事は主催者が用意します。

※宿泊はコテージ等にお泊まり頂きます。（1校につき1棟コテージを予定しています）。
※最寄空港からの交通経路につきましては主催者側で手配しますが、自己都合等により交通経路に変更が生じた場合は経費をご負担頂く場合があります。

8. その他

本戦大会出場選手及び監督は大会招聘期間中滞在することを原則とします。

写真の町・東川町と国際写真祭



東川町は、1985年に世界でもユニークな「写真の町宣言」を行いました。そして、写真文化を町づくりの核とし、同年から国際的な写真賞「写真の町東川賞」の制定授与、写真祭「東川町国際写真フェスティバル（愛称：東川町フォトフェスタ）」などを開催。2025年は、写真賞、写真祭とも40周年を迎えます。東川町フォトフェスタは国内では最も歴史のある写真祭です。高校生たちが、北海道の豊かな風土の中で、本物の写真と出会い、より広く、より深く学ぶ機会となるよう、フェスティバル期間中に写真甲子園の会期を設定しています。

初戦応募までの流れ（例）



◆チームを組もう！

学校の中で3人1組のチームを結成しよう。未経験者同士で組んでもOK！

ただし、応募できるのは1つの学校から1チーム1作品のみ。

◆テーマを決めて、写真をたくさん撮ろう！

6～8枚1組の組写真のテーマ・方向性を決めて、たくさんシャッターを切ろう。

◆撮影した写真をプリントアウト（現像）しよう！

撮影した写真をプリントアウトして、写真を確認しよう。

◆組写真を構成して、作品タイトルやメッセージを考えよう！

プリントアウトした写真からチームで話し合い、テーマ・方向性にあった写真をセレクトし、組写真を構成。作品タイトルやメッセージを考えよう。作品タイトルやメッセージを工夫することで審査委員に撮影意図がしっかり伝わるぞ！

◆作品票を貼付しよう！

応募する作品が決まったら、作品票を作品番号順に作品の裏面に貼りつけよう。貼付の際は天地確認を忘れないようにしましょう！

◆応募票に記入しよう！

応募票に必須事項を記入しよう。記載漏れがないように注意しよう！

◆最終確認をし、5月15日（木）必着までに余裕を持って発送しよう！

発送の準備が整ったら、応募条件を満たしているか最終確認をしよう。⇒作品票のチェック項目を活用 ※発送する際は配達記録が残る宅配便及びレターパック等で発送しよう。

みなさんの思いが詰まった最高の作品をお待ちしております。

写真甲子園への道のり



① 全国の高等学校 作品制作

② 初戦への応募（応募締切 2025年5月15日（木））

③ 初戦審査会……ブロック審査会進出校80校決定

④ ブロック審査会…本戦大会出場校18校決定

⑤ 本戦大会 開会式

撮影…東川町・美瑛町・上富良野町・東神楽町・旭川市ならびに大雪山国立公園一帯の

撮影フィールド

セレクト会議・公開審査会

表彰式・閉会式

初戦応募作品づくりをサポート



ご希望の学校へインクジェット用紙をプレゼント！

■提供：キヤノンマーケティングジャパン株式会社

三脚・雲台キットの貸し出し！

■提供：ヴィデンダムメディアソリューションズ株式会社

※web用応募方法については別紙をご確認ください

メッセージ



名誉顧問/一般財団法人日本カメラ財団理事長

櫻井 龍子

「第32回全国高等学校写真選手権大会」の開催にあたって

第32回全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園2025」は、北海道を代表する大雪山国立公園の自然環境に抱かれた東川町・美瑛町・上富良野町・東神楽町・旭川市を舞台に開催されることとなりました。この大会は、高校生が自然豊かな北の大地を駆け巡り、写真を通じて多くの人と出会い交流を深めるとともに、写真の技術力や表現力、若者らしい創造性や感受性を育む大変有意義な催しです。様々な制約が多い中で、同じ目標に向かって、仲間と協力し助け合いながら作品を創り上げる経験は、長い人生の中で貴重な財産となることでしょう。

本大会に多くの高校写真部・サークル等の皆さまが参加し、北の大地で感動的なフィナーレを目指し熱き戦いに期待を寄せつつ、地域を超えた高校生同士の出会いと交流の中からかけがえのない財産を手にするを願っています。

最後になりますが、高校生カメラマン皆さまのチャレンジを心よりお待ちしております。



名誉大会長 / 北海道知事

鈴木 直道

「写真甲子園2025」の開催に寄せて

第32回全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園2025」が、大雪山系の雄大な自然が広がる東川町・美瑛町・上富良野町・東神楽町・旭川市を舞台に開催されます。

高校写真部日本一を決める本大会は、1994年に始まって以来、写真を愛する高校生の皆さんの大きな目標となり、昨年は過去最多となる604校が参加しました。

参加される皆さんには、全国11ブロックの代表校を目指して、チームメイトと切磋琢磨し、技術と感性を詰め込んで、納得の作品を創り上げていただきたいと思います。

夏の北海道で行われる本戦大会は、全国から集まる同世代の仲間から受ける刺激が、自分自身を成長させる貴重な機会になるとと思います。地域の方々も皆さんとの出合いを心待ちにしていますので、是非、多くの皆さんにチャレンジしてほしいと思います。

●ご応募・お問い合わせ先●

写真甲子園実行委員会事務局

〒071-1423 北海道上川郡東川町東町1丁目19-8 東川町写真の町課内

TEL.0166-82-2111（内線592） FAX.0166-82-4704

HP <https://syakou.jp/> E-mail photo@town.higashikawa.lg.jp

写真甲子園公式SNS X (旧:Twitter)

@syakou_

Facebook

@syakou.higashikawa

Instagram

@syashin.koushien

YouTube

写真甲子園 検索